

大学訪問

読者レポート②

島根県立農業大学校



今回の訪問先は、島根県立農業大学校。大田市にあります。知らない人も多いようです。編集室でもさつでした。

ところが農大は、3月まで読者スタッフとして「Shima Shima」に協力してくれたハルちゃん、進学先、進学してからも充実した学生生活の様子がメールで届いていました。よし、今回は読者スタッフOBのいる農大だ！というわけで島根県立農業大学校にうかがいました。

農大は2年制の学校で、生命産業ともいわれる農林業を学ぶところです。午前は教室での講義、午後は実習のサイクルで授業が進みます。「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「森林総合」の5つの専攻別のクラスがありま



午前中は教室での講義です。みんな真剣ですね。



花を見る目がやさしい原君。



ハルちゃん(中央)と仲間。

す。先生によると、2年間でそれぞれ実践レベルまで教育しますとのこと。1年生のときには2カ月の県外での農家研修もあります。

実習中の学生さんにお話をうかがいました。

「野菜専攻」の2年生横川君。

ハウスのアムスメロンの養液栽培に取り組んでいます。5アール近い50m×10mの広さ。広い！面積のハウス1棟を横川君一人で担当しています。実習では、育苗から収穫・出荷まで栽培技術の習得とともに、経営感覚も身につけます。大学が休みの土日でも温度管理や水の管理のためにハウスに来なければなりません。大変だなと思ったのですが、メロンのことが気になるから当然って感じの横川君でした。横川君は普通高校の出身ですが、家が農家で自分も農業に進みたかたから農大を選んだそうです。将来農業をしたい人には、とてもよい環境です」と農大を語る横川君。卒業後は家に帰って農業に就く予定です。



メロンについて話してくれた横川君。

次に花の出荷作業をしているハウス



切り花の出荷準備をしています。

におじゃましました。

「花き」専攻の原君(2年)。実家は平田市の果樹農家。原君が手がけた花に囲まれて、卒業後はとりあえず就職して家の農業も手伝いながら、早い時期にハウスで花をやりたいと夢を語ってくれました。卒業には好きな花、シクラメンをとりあげる予定です。一緒に実習をしていた1年生の1人は、非農家出身のことで学んだことを活かせたらいいなというつもりです。



畜産専攻の実習。牛からの信頼も厚そうです。



牛への思いを語る勝田さん。

次は大学から車で15分のところにある牧場。広さが35万㎡もあります。畜産専攻です。2年生の勝田さんは、牛の勉強をしたくてこの大学を選びました。この大学でも農業にも牛にも縁のない家庭の出身です。牛が好き！楽しくやっています！という印象が伝わってきます。卒業後も牛に関係ある方向に進めたらいいけど...とこのときは少し遠くを見るまなざしです。

ハルちゃんとは昼休み、食堂でお話を聞きました。全寮制なので初めての一人暮らし。最初は少し不安があったそうですが、すぐに仲間ができてとても楽しいと話してくれました。専攻は、野菜です。夏からは一人でハウス棟をまかされる実習も始まります。



ハウスの中はこんなに広い！！

農大の全景。建物の周辺に実習の場となるハウス群が広がっています。



島根県立農業大学校

〒699-2211 大田市波根町970-1
TEL 0854-85-7011

農林業後継者、農林業指導者の養成を図る目的で昭和54年設立。

入学試験 / 一般入試・推薦入試
教育課程 /
園芸課程(野菜・花き・果樹専攻)【定員30人】
畜産課程【定員20人】・森林総合課程【定員10人】

森林総合専攻では木材の伐採・搬出などの他、キノコの栽培や造園など森林に関する実習をしています。



全寮制と聞いて驚いたのですが、どれも寮生活の楽しさを口にします。皆さんとお話をして、寮生活と自然や生き物を相手にする実習を通して農大では知識や技術の習得以上のとても大切なものを学んでいるのだと感じました。



果樹専攻の実習。県の主要果樹のブドウ、柿をはじめモモ、ナシ、リンゴなどを栽培しています。